

RID 2780

茅ヶ崎ロータリークラブ週報

第 62 代会長 古知屋光洋

2021-2022 年度

第 62 代幹事 加瀬 義明

Painted by Kenzo Tanaka

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-29 茅ヶ崎商工会議所 3 階 TEL: 0467-83-6060 FAX: 0467-83-9915

メール: c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島 1341 コルティール茅ヶ崎 TEL: 0467-87-0002

2021 年 12 月 16 日(木) 第2953回例会 天候:晴れ 司会:富田桂司副幹事 No. 20

＝本日の例会行事＝

◇歌唱 「それでこそロータリー」

◇会長挨拶

◇幹事報告

◇委員会報告 [ホームページ・親睦] ◇卓話 「ポリオプラスの活動について」神谷一博様 (地区ポリオプラス委員会 委員長・湯河原 RC) 中村辰雄様 (地区ポリオプラス委員会委員・相模原南 RC)

◎ゲスト・ビジター紹介

神谷一博様 (ゲストスピーカー・ポリオプラス委員会委員長・湯河原 RC) 中村辰雄様 (ゲストスピーカー・ポリオプラス委員会委員・相模原南 RC) 寺田圭次様 (ふじさわ湘南 RC) 根岸君代様 (平塚北 RC) 関口直美様 (平塚湘南 RC)

スマイル報告 細井年春会員

神谷一博様 (ポリオプラス委員長・湯河原 RC) 本日はポリオプラス委員会メンバー 5 名も例会に参加させて頂きました。ポリオの卓話、お聞き下さいませ。お呼び下さいまして、ありがとうございました。

中村辰雄様 (ポリオプラス委員・相模原南 RC) 古知屋会長・加瀬幹事、本日ポリオプラス委員会卓話招待戴きありがとうございます。拙い話ですが、少しの時間聴いてください。よろしくお願ひ致します。

根岸君代様 (ポリオプラス副委員長・平塚北 RC) 関口直美様 (ポリオプラス委員・平塚湘南 RC) 寺田圭次様 (地区副幹事ポリオプラス担当・ふじさわ湘南 RC) 中村辰雄ポリオプラス委員の卓話は楽しく、ロータリアンとして勉強になります。1906 年に奉仕の芽がめばえて以来、ポリオ根絶はその発展の最も重要な一角です。是非卓話をお聞きになって、理解を深めていただければ幸いです。

古知屋光洋君 神谷さま、中村さま、卓話楽しみにしています。寺田さん、根岸さん、関口さん、例会お楽しみください。

伊藤留治君 ゲスト・ビジターの皆様ようこそお越し下さいました。歓迎致します。

加藤 寛君 神谷委員長、お世話になっています。もちつきもお世話になっております。中村様、美しい写真拝見しました。ありがとうございます。

田中賢三君 神谷さん、中村さん、寺田さん、根岸さん、関口さん、たいへんお世話になります。スピーチを楽しみにしています。

吉田恵子君 ゲストの皆様ようこそ。今日は富士山がとてもきれいでした。昨日と違って変わって今日はうららかですね。

成田栄二君 ゲストスピーカー神谷委員長、中村委員、卓話よろしくお願ひ致します。ゲストの根岸副委員長、関口委員、寺田副幹事ようこそ！副委員長のお話も聞きたかったです。所用のため早退します。

和田幸男君 ゲストスピーカーの神谷ポリオプラス委員長、中村ポリオプラス委員、卓話よろしくお願ひ致します。

澤邑重夫君 地区ポリオプラス委員会のみなさま、ようこそ。本日は卓話よろしくお願ひ致します。さて、おいしく食べられたはずのタマゴですが、古知屋会長はご自宅であたためられているとのこと。38.5 度に保って、半日に一度ころがしてあげれば、21 日後にヒヨコになります。お正月が楽しみですね！

岩澤あゆみ君 神谷委員長、本日は卓話をよろしくお願ひ致します。中村さん、関口さんようこそ。根岸さんは来週のクリスマス会にもご参加下さいませ。寺田地区副幹事はガバナー月信を作っています。皆さまおそろいでありがとうございます。

中山富貴子君 本日は地区のポリオプラス委員長神谷様はじめ中村様、根岸様、関口様、地区副幹事寺田様、ようこそお越し下さいました。卓話どうぞ宜しくお願ひいたします。

大箭剛久君 お客様に大勢ご来場いただき、にぎやかな例会で良かったですね。ようやく日常が帰ってきた感じがです。ここで一句「顔なじみ 迎え小春の昼例会」

富田桂司君 神谷委員長、根岸副委員長、中村様、関口様、寺田様ようこそ！卓話宜しくお願ひ致します。

北村公子君 ゲストの皆様ようこそおいで下さいました。卓話楽しみにしております。よろしくお願ひ致します。

木村信一君 ゲスト・ビジターの皆様いらっしやいませ。神谷様おもちつきありがとうございます。子供たちもとてもいい思い出になりました。

橋本正一君 ゲスト・ビジターの皆さんこんにちは。神谷さん、中村さん、卓話楽しみです。

榎木太郎君 本会議中で大変です。

石田貴一君 ゲスト・ビジターの皆様ようこそ、いらっしやいませ。卓話、勉強させて頂きます。

[本日 22 件、30,000 円です]

出席報告 細井年春会員

日時	回	現会員	計算会員	出席	MU済	欠席	暫定出席率	修正出席率
12/16	2953	40	37	33	1	3	91.90%	
12/2	2951	40	36	28	3	5	83.33%	86.11%

卓話「ポリオプラスの活動について①」 神谷一博様

ポリオ(急性灰白髄炎)は非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは5歳未満の子供たちです。日本では一般に「小児まひ」と呼ばれています。

ポリオウイルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。神経を侵し、これによって身体のみひを引き起こします。治療法はありませんが、安全なワクチンで予防が可能です。ロータリーとそのパートナー団体(WHO、CDC、ユニセフ、ロータリー、ビル&メリッサ・ゲイツ財団)は、これまでに世界中25億人以上の子ども達にワクチンを授与する活動を行ってきました。

1. 「日本でのポリオ発症経緯」

世界では1988年頃(約33年前)、125か国で年間35万人のお子さんがポリオを発症していたと推定されています。日本でも1960年(約61年前※東京オリンピックは1964年)、北海道を中心に5,000人以上の患者が発生する大流行がありました。翌1961年1,300万人分の経口生ワクチンを緊急輸入し、お子さんにポリオワクチンを全国一斉投与しました。これによって甘木では、急速に流行を終息させる事に成功しました。これが日本で成功した、世界最初のNID(全国免疫接種日)です。

その後、日本では1980年(約41年前)にI型ポリオの症例を最後に、野生型ポリオウイルスによるポリオ麻痺症例は見られていないと言うことです。(「出典:国立感染症情報センターHP」より)現在65才前後の方は当時ご両親が顔色を変えていた事を思い出すのではないのでしょうか。

ポリオは一度発症いたしますと、現代の医学ではこの麻痺症例を治すことが出来ません。生涯続く悲惨な病気です。ただ発症を防ぐ方法が一つだけあります。それが「ポリオワクチン」です。ワクチンを授与された5歳以下のお子さんは生涯麻痺を発症しないと言われています。

2. 「40ドル/人/年 寄付のお願い」

全世界からポリオを拒絶しない限り、今後10年以内に、世界での年間発症例は20万件に上ると予想されています。現在ポリオの常在国はわずか2か国ですが、ポリオの発症がどこかで起きている限り、感染の危険は世界中のお子さんに及ぶこととなります。(My Rotary ポリオ根絶より)

引き続きポリオが根絶するまでワクチン接種の手を緩めるわけにはいきません。現在の日本でも、いまだに幼児全員(生後4か月ぐらいいから)にポリオワクチンの定期接種を行っています。世界で全てのお子さんにポリオワクチン定期接種が必須です。この場をお借りいたしまして、国際ロータリー第2780地区に於いては、お一人年間40ドル(約4,400円)の使途指定寄付金をお願いしております。



ポリオワクチンを投与する田島透ガバナー



左から古知屋会長・中村辰雄様・神谷一博様

卓話「ポリオプラスの活動について②」 中村辰雄様

10/24に世界4,000以上のクラブが参加して、世界エンドポリオデーが行われました。ポリオ根絶のため、会員の皆さんから寄付していただく40ドル、世界では5,000万ドルとビル&メリッサゲイツ財団による1億ドルとを合わせた1億5,000万ドルが使われています。

ポリオプラスの意味

ポリオのほか、ハシカ・ジフテリア・結核・破傷風・百日咳の五つの主要伝染病をプラスして同時追放を目的としているという意味。この事業はWHOやユニセフと提携して推進中。主なポリオプラス活動は子供のワクチン接種や感染された方々のリハビリテーション病院への支援、冷凍庫支給なども実施されております。

ポリオプラス活動の歴史

日本RCのポリオプラス活動は、2001年(平成13)よりワクチン接種活動が始められた。第2780地区は2014年相澤光春ガバナー年度(田島透ガバナーが地区幹事務められた)より2020年1月まで7年間続けて来ました。インドがポリオ根絶した活動状況を視察し、ワクチン未接種の子供たちが、1億数千万人いることが7年間続けられてきた要因です。

ポリオ撲滅(根絶)活動のルーツ

東京麹町ロータリーの山田彝(つね)氏が1982年(昭和57)1月にインド麻疹(はしか)免疫プロジェクトに参加、2月ボランティアで南インドで奉仕活動に従事した際、ポリオ後遺症を背負い、足を引きずりながら懸命に生きている少年を見て、このような子供を今後一人も出してはいけないと誓い、帰国後、クラブ・地区そしてRIにポリオ撲滅運動を始めるきっかけとなりました。山田彝氏は1988年7月に他界。一緒に同行した峯英二会員も1989年6月に他界された。2014年(平成26)当時、相澤PG、田島地区幹事は山田彝氏へ人間の荘厳さ(威厳・気高さ)を感じていたのではないかと考えております。

「ポリオプラス」発足

1985年(昭和60)国際ロータリーは各国政府、WHO、ユニセフなど「世界ポリオ根絶推進活動」へと発展しております。当時の会長・ジェームス・ボーマー氏が「最初にポリオワクチン経口投与」したのは1979年(昭和54)9月、フィリピンへのポリオ予防接種活動でした。これがロータリー「保健・飢餓追放及び人間尊重の補助金」プロジェクトの発足となりました。

1980年代(平成元)の終わり頃は、毎年35万人の子供たちポリオによる身体マヒの犠牲になっていました。現在は常在国も2か国になり、99.9%減少した。私たちの40ドルのポリオ寄金は、毎年4億人の子供たちに予防接種されております。

ポリオのない世界実現で今後20年間で、400~500億ドルの資金が節約できると云われます。ポリオが世界から撲滅されれば天然痘に続いて2番目に根絶された疾病となり、公共保険の歴史的快挙となります。